

大阪にお住まいの方へ | 民泊施設として空き家を活用するメリットやポイントをご紹介します！

「空き家の有効な活用方法が分からない」

「空き家を相続したけど、税金を支払い続けていくのが大変だな」

大阪にお住まいでこのようにお悩みの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

実は今、そのようなお悩みを解決するため、空き家を民泊施設として活用することが注目されています。

そこで、今回は空き家の有効活用法を知りたい方に向けて民泊施設としての空き家の活用について詳しくご紹介します。

そもそも民泊とは

民泊とは旅館やホテルといった宿泊施設ではなく、一般の住宅やマンションに有料で旅行者が宿泊することを言います。

宿泊施設の多様化に伴い、民泊需要も高まってきており、特に暮らすように旅したいという旅行者の方からの民泊の需要は非常に増加しています。

民泊施設として活用するメリット

民泊施設として活用するメリットとしては、やはり収益が得られることです。

空き家は所有しているだけで固定資産税や火災保険料、電気・ガス・水道などの光熱費、定期的なメンテナンス費用がかかります。

これらは総額で年間約20万円もかかると言われています。

もし民泊施設として活用すれば、このようなコストを大きく上回るほどの収益が見込めます。

また、客層として民泊施設は旅行者をターゲットとするため、定住希望者が対象となる売却や賃貸よりも安定した収益化が可能です。

空き家を民泊として活用する際のポイント

空き家を民泊としてどのように活用するのか？

ポイントは、ターゲットとなる客層に合わせてリノベーションすることです。

それでは、どのような客層に向けて空き家を民泊施設にするべきかを知りたいところですよね。

現在、世界中でグローバル化が進んでおり、日本にも多くの外国人観光客が訪れるようになりました。

今後も外国人観光客は増加していくと見込まれます。

そのため、ターゲットとなる客層は海外からの訪日観光客を想定するのがおすすめです。

したがって、バスルームはシャワーのみに改装したり、荷物が多いと思われるため収納スペースをより充実させるなどのリノベーションを行うと良いでしょう。

まとめ

以上、空き家の有効活用法を知りたい方に向けて民泊施設としての空き家の活用についてご紹介しました。

もしあなたが空き家の税金の支払いに悩まれているなら、ぜひ民泊施設への活用を検討してみてくださいはいかがでしょうか。

また、当社は全国でも少ない空き家のリフォームを専門とするプロフェッショナル集団です。全国古家再生推進協議会の第1号の認定工務店であり、協議会の中もNo.1の空き家のリフォーム実績を持つ会社です。

さらに空き家の利用方法について詳しく知りたい方がいれば、当社へお気軽にお問い合わせください。